

中野区基本計画の進捗状況について

区では、令和5年度に中野区基本計画後期(令和5～7年度)の取組を具体化した中野区実施計画を策定し、後期の取組を着実に進めているところである。

については、中野区基本計画の進捗状況を以下のとおり報告する。

1 中野区基本計画(令和6年度)の進捗状況

(1) 政策の成果指標の進捗状況

別紙1のとおり

(2) 施策の成果指標の進捗状況(詳細は別紙2のとおり)

基本目標	◎	○	●	△	—	合計
1 人と人がつながり、新たな活力が生まれるまち	4	14	0	4	0	22
2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまち	11	10	1	10	0	32
3 誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまち	2	17	1	8	0	28
4 安全・安心で住み続けたい持続可能なまち	2	15	0	12	1	30
合計	19	56	2	34	1	112

(凡例) ◎:「2025年度目標値」を達成している指標

○:基本計画策定時の値から現状値が向上している指標

●:基本計画測定時の値から現状値に変化がない指標

△:基本計画策定時の値から現状値が低下している指標

—:測定年度到達前により測定不可の指標

(3) 政策・施策に基づく主な事業の進捗状況

基本目標	○	●	△	×	合計
1 人と人がつながり、新たな活力が生み出されるまち	63	9	1	0	73
2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまち	97	9	0	0	106
3 誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまち	96	5	0	0	101
4 安全・安心で住み続けたい持続可能なまち	115	5	1	0	121
合計	371	28	2	0	401

(凡例) ○：実施した事業

●：予定を変更して実施した事業

△：中止の決定はしていないが、実施していない事業

×：中止を決定した事業

2 主な事業の進捗状況における変更等の理由

(1) 基本目標1 人と人がつながり、新たな活力が生まれるまち

- ・「小・中学生文化芸術振興事業」について、事業の対象を拡大して実施した。
- ・「民間活力を活用したビジネス創出支援事業」、「中野四丁目新北口駅前土地区画整理事業」について、事業展開の内容を変更して実施した。
- ・「区民と外国人住民等の多文化・国際交流事業」について、事業展開のスケジュールを前倒して実施した。
- ・「区民活動センター整備」、「中野駅南口駅前広場整備」、「中野二丁目土地区画整理事業」、「円町西地区第一種市街地再開発事業」及び「(仮称)中野四丁目西地区第一種市街地再開発事業」について、事業展開のスケジュールを変更した。
- ・「(仮称)中野四丁目新北口駅前地区第一種市街地再開発事業」については、事業内容の見直しが必要となり、実施しなかった。

(2) 基本目標2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまち

- ・「不登校児童・生徒への支援事業」について、事業内容を充実し、校内別室学級を設置した。
- ・「体力向上プログラム事業」、「特色ある学校づくり」及び「教育・保育施設確保」について、事業展開の内容を変更して実施した。
- ・「子どもの経験・体験事業」について、事業展開のスケジュールを前倒して実施した。
- ・「人権尊重・心の教育」、「教員の働き方改革推進事業」、「ファミリー・サポート・センター事業」及び「児童館等整備・運営」について、事業展開のスケジュールを変更した。

(3) 基本目標3 誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまち

- ・「高齢者の見守り・支えあい推進事業」、「すこやか福祉センター整備・運営」、「要支援者早期把握」、「再犯防止推進事業」及び「民間活力活用による障害者施設基盤整備・誘導」について、事業展開のスケジュールを変更した。

(4) 基本目標4 安全・安心で住み続けたい持続可能なまち

- ・「東中野駅・中野坂上駅周辺地区まちづくり」について、事業展開の内容を変更して実施した。
- ・「消費生活相談」について、事業展開のスケジュールを前倒して実施した。
- ・「避難所運営、防災物資・防災資機材等配備」、「災害廃棄物処理の体制整備」及

び「公園施設の適切な配置・改修」について、事業展開のスケジュールを変更した。

- ・「清掃事務所運営」について、清掃事務所の建替については次期中野区区有施設整備計画の検討と併せてスケジュールの見直しを行うこととしたため、建替方針の決定について未着手となった。

政策の成果指標進捗状況一覧

政策	成果指標 【出典：区民意識・実態調査】	2020年度 (計画策定時)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度 目標	担当部	(主な関連部)	
1	多様性を生かし新たな価値を生み出す	「多様な人々が暮らす中で、人権や価値観が尊重されている」と思う区民の割合	55.8%	45.2%	48.2%	45.2%	44.6%	向上	企画部	区民部
2	地域愛と人のつながりを広げる	「地域愛と人のつながりが広がっている」と思う区民の割合	45.6%	39.3%	40.4%	39.3%	38.4%	向上	企画部	地域支えあい推進部
3	遊び心あふれる文化芸術をまち全体に展開する	「文化・芸術活動が活発に行われ、にぎわいにあふれている」と思う区民の割合	46.7%	37.3%	42.4%	40.9%	44.0%	向上	企画部	区民部
4	地域経済活動を活性化する	「区内産業の発展や新たな企業・店舗の参入などにより、地域経済が活性化している」と思う区民の割合	44.1%	37.7%	36.6%	35.5%	39.6%	向上	企画部	区民部
5	東京の新たな活力とにぎわいを世界に発信する	「中野駅周辺では活力とにぎわいが生まれている」と思う区民の割合	62.6%	58.1%	56.3%	57.0%	61.5%	向上	企画部	まちづくり推進部
6	子どもの命と権利を守る	「子どもの命と権利を守る体制が整っている」と思う区民の割合	40.1%	36.0%	37.5%	40.7%	36.6%	向上	企画部	子ども教育部・教育委員会事務局
7	社会の変化に対応した質の高い教育を実現する	「質の高い学校教育が行われている」と思う区民の割合	38.9%	35.0%	34.4%	36.9%	34.0%	向上	企画部	子ども教育部・教育委員会事務局
8	まち全体の子育ての力を高める	「子育て活動が活発であるとともに、子育てしやすい体制が整っている」と思う区民の割合	36.4%	31.2%	31.3%	34.2%	31.1%	向上	企画部	子ども教育部・教育委員会事務局、地域支えあい推進部、健康福祉部
9	子育て世帯が住み続けたいくなるまちをつくる	「子育て世帯が住み続けたいくなるまちづくりが進んでいる」と思う区民の割合	39.6%	36.7%	38.9%	36.7%	37.4%	向上	企画部	子ども教育部・教育委員会事務局、都市基盤部
10	若者のチャレンジを支援する	「若者がチャレンジできる環境が整っている」と思う区民の割合	25.7%	21.0%	23.1%	23.2%	22.9%	向上	企画部	子ども教育部・教育委員会事務局

政策		成果指標 【出典：区民意識・実態調査】	2020年度 (計画策定時)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度 目標	担当部	(主な関連部)
11	人生100年時代を安心して過ごせる体制を構築する	「高齢期も地域で安心して過ごすことができる体制が整っている」と思う区民の割合	38.1%	37.9%	35.9%	34.5%	34.6%	向上	企画部	地域支えあい推進部
12	生涯現役で生き生きと活躍できる環境をつくる	「生涯現役で活躍できる環境が整っている」と思う区民の割合	29.7%	25.5%	27.4%	28.1%	26.5%	向上	企画部	地域支えあい推進部
13	誰一人取り残されることのない支援体制を構築する	「誰一人取り残されることのない支援体制が整っている」と思う区民の割合	34.0%	30.6%	31.1%	30.0%	28.9%	向上	企画部	地域支えあい推進部、健康福祉部
14	誰もが自分らしく輝ける地域社会を形成する	「障害や認知症の有無などに関わらず自分らしく暮らせる環境が整っている」と思う区民の割合	29.4%	21.9%	26.3%	23.8%	24.5%	向上	企画部	地域支えあい推進部、健康福祉部
15	生涯を通じて楽しく健康に過ごせる環境をつくる	「運動や学びなど健康で文化的な生活を送ることができる」と思う区民の割合	36.9%	36.0%	34.8%	33.2%	32.4%	向上	企画部	区民部、子ども教育部・教育委員会事務局、健康福祉部
16	災害に強く回復力のあるまちづくりを進める	「災害に強いまちづくりが進んでいる」と思う区民の割合	42.1%	39.7%	40.4%	37.8%	41.7%	向上	企画部	総務部、都市基盤部、まちづくり推進部
17	時代の変化に対応したまちづくりを進める	「西武新宿線の連続立体交差事業を契機とした沿線各駅のまちづくりや地区の特性に応じたまちづくりにより、安全性・快適性・利便性が向上している」と思う区民の割合	41.6%	39.3%	38.1%	39.5%	36.1%	向上	企画部	まちづくり推進部
18	快適で魅力ある住環境をつくる	「快適で魅力ある住環境の形成が進んでいる」と思う区民の割合	45.4%	44.7%	43.3%	41.9%	44.7%	向上	企画部	都市基盤部
19	環境負荷の少ない持続可能なまちをつくる	「環境負荷の少ないライフスタイルなどが、区民の生活や企業活動に浸透している」と思う区民の割合	28.9%	25.1%	27.1%	25.3%	28.1%	向上	企画部	環境部
20	安全・安心な生活環境と防犯まちづくりを進める	「安全・安心な生活環境と防犯まちづくりが進んでいる」と思う区民の割合	45.3%	46.6%	46.3%	39.3%	42.2%	向上	企画部	総務部、健康福祉部

施策の成果指標進捗状況一覧

(凡例) ◎：「2025年度目標値」を達成している指標 ○：基本計画策定時の値から現状値が向上している指標
 ●：基本計画策定時の値から現状値に変化がない指標 △：基本計画策定時の値から現状値が低下している指標
 —：測定年度到達前により測定不可の指標

※測定不可の指標の現状値は「—」とする。
 ※現状値の値が「—」の場合、基本計画策定時と最新の値を比較し進捗区分を記載。

基本目標	政策	施策	指標【出典】	基本計画策定時(該当年度)	実施計画策定時(該当年度)	昨年度報告時(該当年度)	現状値(該当年度)	2025年度目標値	進捗区分	担当部	
1	1	1	人権と多様性の尊重	① ユニバーサルデザインの認知度【中野区区民意識・実態調査】	66.3% (2020年度)	60.7% (2022年度)	65.8% (2023年度)	73.9% (2024年度)	71%	◎	企画部
1	1	1	人権と多様性の尊重	② 社会全体における男女の地位が平等だと思ふ人の割合【中野区区民意識・実態調査】	14.5% (2020年度)	13.8% (2022年度)	12.3% (2023年度)	14.8% (2024年度)	20%	○	企画部
1	1	2	多文化共生のまちづくりの推進	① 国際交流や多文化共生事業への満足度【中野区資料】	—	91.8% (2022年度)	96.7% (2023年度)	93.8% (2024年度)	95%	○	区民部
1	1	2	多文化共生のまちづくりの推進	② 文化・国際交流事業への外国人の参加割合【中野区資料】	42.8% (2020年度)	48.4% (2022年度)	51.2% (2023年度)	56.9% (2024年度)	50%	◎	区民部
1	2	3	地域における人のつながりと愛着が生まれる環境づくり	① 近所との付き合いがほとんどない区民の割合【健康福祉に関する意識調査】	21.6% (2020年度)	20.9% (2022年度)	—	—	18%	○	地域支えあい推進部
1	2	3	地域における人のつながりと愛着が生まれる環境づくり	② 住民同士の交流の場があると感じている区民の割合【健康福祉に関する意識調査】	32.2% (2020年度)	29.7% (2022年度)	—	—	40%	△	地域支えあい推進部
1	2	4	地域コミュニティを支える人材育成と団体支援の充実	① 地域活動を行っている区民の割合【健康福祉に関する意識調査】	19.6% (2020年度)	20.9% (2022年度)	—	—	25%	○	地域支えあい推進部
1	2	4	地域コミュニティを支える人材育成と団体支援の充実	② 地域課題の解決に取り組む団体の新規立上げ支援数【中野区資料】	15団体 (2017～2020年度)	17団体 (2022年度)	18団体 (2023年度)	21団体 (2024年度)	36団体 (5年間の累計)	○	地域支えあい推進部
1	2	5	地域の自主的な活動の推進と環境づくり	① 区民活動センターを身近に感じる人の割合【健康福祉に関する意識調査】	16.7% (2020年度)	19% (2022年度)	—	—	20%	○	地域支えあい推進部
1	2	5	地域の自主的な活動の推進と環境づくり	② 区民活動センター集会所利用率(15施設の平均)【中野区資料】	34.4% (2020年度)	40.9% (2022年度)	47.2% (2023年度)	—	55%	○	地域支えあい推進部
1	3	6	誰もが身近に文化芸術に親しめる環境づくり	① 中野区の文化的環境に満足していると思ふ区民の割合【中野区区民意識・実態調査】	23.8% (2020年度)	23.6% (2022年度)	29.3% (2023年度)	31.5% (2024年度)	34%	○	区民部
1	3	6	誰もが身近に文化芸術に親しめる環境づくり	② 自ら文化・芸術活動を行っている区民の割合【中野区区民意識・実態調査】	27.7% (2020年度)	24% (2022年度)	35.5% (2023年度)	30.7% (2024年度)	43%	○	区民部

基本目標	政策	施策	指標【出典】	基本計画策定時(該当年度)	実施計画策定時(該当年度)	昨年度報告時(該当年度)	現状値(該当年度)	2025年度目標値	進捗区分	担当部
1	3	7	魅力的な地域資源の発掘・発信 ① SNSで発信した地域資源情報のインプレッション数(投稿が表示された回数) 【中野区資料】	1,120,000件(2020年度)	556,710件(2022年度)	420,904件(2023年度)	1,297,662件(2024年度)	2,240,000件	○	区民部
1	3	7	魅力的な地域資源の発掘・発信 ② イベント・サービス実施、またはマッチングの支援件数 【中野区資料】	38件(2020年度)	58件(2022年度)	71件(2023年度)	153件(2024年度)	76件	◎	区民部
1	4	8	持続可能な地域経済の成長と働き続けられる環境づくり ① 区内民営事業所数 【経済センサス基礎調査、活動調査】	12,068件(2016年)	11,962件(2021年)	—	—	12,500件	△	区民部
1	4	8	持続可能な地域経済の成長と働き続けられる環境づくり ② 区内従業者数 【経済センサス基礎調査、活動調査】	121,982人(2016年)	122,974人(2021年)	—	—	130,000人	○	区民部
1	4	9	商店街の活性化支援によるにぎわい空間の創出 ① 買い物やサービス等利用のため、商店街へ週1日以上行く人の割合 【中野区区民意識・実態調査】	72.6%(2020年度)	66.3%(2022年度)	69.1%(2023年度)	65.9%(2024年度)	75.7%	△	区民部
1	4	9	商店街の活性化支援によるにぎわい空間の創出 ② 区内商店街内の空き店舗数 【中野区商店街連合会作成資料】	545店(2020年度)	520店(2022年度)	517店(2023年度)	456店(2024年度)	449店	○	区民部
1	5	10	中野駅周辺における新たな魅力や価値の創出・発信 ① 中野駅周辺を利用する際に不満を感じている区民の割合 【中野区区民意識・実態調査】	62.2%(2020年度)	49.5%(2022年度)	50.1%(2023年度)	53.5%(2024年度)	49.5%	○	まちづくり推進部
1	5	10	中野駅周辺における新たな魅力や価値の創出・発信 ② 中野駅の乗車人員(1日平均)のJR東日本エリア内での順位 【鉄道事業者公表資料】	20位(2020年度)	16位(2022年度)	—	17位(2023年度)	16位	○	まちづくり推進部
1	5	11	中野駅周辺まちづくりにおける都市基盤の整備と多様な都市機能の誘導 ① 区が特に力を入れていると感じる施策に「駅前などの重点的まちづくり」を選択した区民の割合 【中野区区民意識・実態調査】	35.4%(2020年度)	32.2%(2022年度)	33.6%(2023年度)	34.4%(2024年度)	40%	△	まちづくり推進部
1	5	11	中野駅周辺まちづくりにおける都市基盤の整備と多様な都市機能の誘導 ② 中野駅周辺における都市基盤整備(街路事業)の進捗率 【中野区資料】	23.6%(2020年度)	26.3%(2022年度)	30.8%(2023年度)	60.0%(2024年度)	55.1%	◎	まちづくり推進部
2	6	12	子どもの権利の尊重と理解促進 ① 子どもの権利が守られていると思う区民の割合 【中野区区民意識・実態調査】	—	26.4%(2022年度)	26.1%(2023年度)	31.4%(2024年度)	30%	◎	子ども教育部教育委員会事務局
2	6	12	子どもの権利の尊重と理解促進 ② 「自分のことが好きだ」と思う児童・生徒の割合 【中野区子どもと子育て家庭の実態調査】	小学生:69.9% 中学生:60.7% (2019年度)	—	—	小学生:70.6% 中学生:64.3% (2024年度)	小学生:75% 中学生:65%	○	子ども教育部教育委員会事務局
2	6	13	一人ひとりの状況に応じた支援の充実 ① 「学校は、自他の生命を大切にすることを育てている」と考える保護者の割合 【学校教育に関する保護者アンケート】	71.7%(2020年度)	74.5%(2022年度)	73.4%(2023年度)	71.8%(2024年度)	75%	○	子ども教育部教育委員会事務局
2	6	13	一人ひとりの状況に応じた支援の充実 ② いじめの解消率 【学校生活のアンケート等】	53.9%(2020年度)	71.4%(2022年度)	63.9%(2023年度)	—	75%	○	子ども教育部教育委員会事務局

基本目標	政策	施策	指標【出典】	基本計画策定時(該当年度)	実施計画策定時(該当年度)	昨年度報告時(該当年度)	現状値(該当年度)	2025年度目標値	進捗区分	担当部	
2	6	14	子どもの貧困対策の推進	① 授業が「よくわからない」と感じる困窮層の子ども(小・中学生)の割合【中野区子どもと子育て家庭の実態調査】	小学生:20.6% 中学生:54.6% (2019年度)	—	—	小学生:26.3% 中学生:45.0% (2024年度)	小学生:15% 中学生:50%	△	子ども教育部 教育委員会事務局
2	6	14	子どもの貧困対策の推進	② 「がんばれば、むくわれると思う」と答える子ども(小・中学生)の割合【中野区子どもと子育て家庭の実態調査】	小学生:83% 中学生:77% (2019年度)	—	—	小学生:79.6% 中学生:72.9% (2024年度)	小学生:88% 中学生:82%	△	子ども教育部 教育委員会事務局
2	6	15	児童虐待の未然防止、早期発見・早期対応	① 虐待を理由とする一時保護の再保護件数【中野区資料】	—	3件 (2022年度)	1件 (2023年度)	0件 (2024年度)	0件	◎	子ども教育部 教育委員会事務局
2	6	15	児童虐待の未然防止、早期発見・早期対応	② 要保護児童対策地域協議会への参加関係機関数【中野区資料】	268箇所 (2020年度)	322箇所 (2022年度)	341箇所 (2023年度)	344箇所 (2024年度)	359箇所	○	子ども教育部 教育委員会事務局
2	7	16	子どもたちの「生きる力」を育む教育の充実	① 「学校は一人ひとりの児童・生徒のよさや可能性を伸ばす教育を行っている」と考える保護者の割合【学校教育に関する保護者アンケート】	67% (2020年度)	69.1% (2022年度)	67.6% (2023年度)	66.5% (2024年度)	70%	△	子ども教育部 教育委員会事務局
2	7	16	子どもたちの「生きる力」を育む教育の充実	② 「学校・園は他の校種との接続や連携を大切にしながら教育を視点に授業・保育改善に努めている」と考える保護者の割合【学校教育に関する保護者アンケート】	54.5% (2020年度) *小中連携教育の取組に 対しての結果	66.1% (2022年度)	56.3% (2023年度)	56.5% (2024年度)	70%	○	子ども教育部 教育委員会事務局
2	7	17	発達の課題や障害のある子どもへの教育の充実	① 「学校生活支援シート(個別の教育支援計画)の作成にあたり、学校と話し合うことができた」と思う保護者の割合【学校教育に関する保護者アンケート】	85.8% (2020年度)	84.2% (2022年度)	88.8% (2023年度)	84.4% (2024年度)	95%	△	子ども教育部 教育委員会事務局
2	7	17	発達の課題や障害のある子どもへの教育の充実	② 通常の学級に在席する児童・生徒のうち、心理士による特別支援教育巡回相談で対応したケースの割合【中野区資料】	12.2% (2020年度)	7.4% (2022年度)	7.6% (2023年度)	10.3% (2024年度)	20%	△	子ども教育部 教育委員会事務局
2	7	18	特色ある学校づくりと家庭・地域との協働による学校運営の推進	① 学校の授業等で活用した地域人材の人数【中野区資料】	3,060人 (2020年度)	2,942人 (2022年度)	3,118人 (2023年度)	3,807人 (2024年度)	4,865人	○	子ども教育部 教育委員会事務局
2	7	18	特色ある学校づくりと家庭・地域との協働による学校運営の推進	② 「学校は、家庭・地域と協力しながら子どもを教育している」と考える保護者の割合【学校教育に関する保護者アンケート】	77.7% (2020年度)	80.5% (2022年度)	83.0% (2023年度)	80.0% (2024年度)	88%	○	子ども教育部 教育委員会事務局
2	7	19	これからの学びに対応した学校教育環境の整備	① ICTを活用して児童・生徒を指導することができる教員の割合【学校における教育の情報化の実態等に関する調査】	79.4% (2020年度)	89.2% (2022年度)	89.4% (2023年度)	—	100%	○	子ども教育部 教育委員会事務局

基本目標	政策	施策	指標【出典】	基本計画策定時(該当年度)	実施計画策定時(該当年度)	昨年度報告時(該当年度)	現状値(該当年度)	2025年度目標値	進捗区分	担当部	
2	7	19	これからの学びに対応した学校教育環境の整備	② 中野区立学校図書館の図書貸出冊数【中野区資料】	392,657冊(2020年度)	552,024冊(2022年度)	601,776冊(2023年度)	—	600,000冊	◎	子ども教育部教育委員会事務局
2	8	20	地域における子育て支援活動の促進	① 子育て支援活動に参加した区民の割合【中野区区民意識・実態調査】	4.7%(2020年度)	3.1%(2022年度)	4.8%(2023年度)	4.9%(2024年度)	10%	○	子ども教育部教育委員会事務局
2	8	20	地域における子育て支援活動の促進	② ファミリー・サポート・センター事業における利用マッチング率【中野区資料】	85.4%(2020年度)	89.6%(2022年度)	89.9%(2023年度)	94.0%(2024年度)	90%	◎	子ども教育部教育委員会事務局
2	8	21	妊娠から子育てにかかる切れ目ない相談支援体制の充実	① 妊娠届提出者に係る支援プラン作成の割合【中野区資料】	—	84.7%(2022年度)	—	95%(2023年度)	90%	◎	地域支援あい推進部
2	8	21	妊娠から子育てにかかる切れ目ない相談支援体制の充実	② 子育てサービスを必要に応じて利用できた割合【子育て支援に関するアンケート調査】	95.6%(2020年度)	96.8%(2022年度)	93.2%(2023年度)	95.6%(2024年度)	98%	●	子ども教育部教育委員会事務局
2	8	22	将来を見通した幼児教育・保育の実現	① 保育所等利用待機児童数【中野区資料】	73人(2020年4月1日現在)	0人(2022年4月1日現在)	0人(2023年4月1日現在)	0人(2024年4月1日現在)	0人	◎	子ども教育部教育委員会事務局
2	8	22	将来を見通した幼児教育・保育の実現	② 「中野区保育の質ガイドライン」を知っている保護者のうち、ガイドラインが教育・保育に役立てられていると感じる保護者の割合【保護者満足度調査】	80.6%(2020年度)	72%(2022年度)	60.2%(2023年度)	92.8%(2024年度)	90%	◎	子ども教育部教育委員会事務局
2	8	23	特別な配慮を必要とする子どもとその家庭への一貫した相談支援体制の充実	① 「日頃から子どもの状況を伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている」と考える保護者の割合【区立障害児通所支援施設保護者アンケート調査】	87.7%(2020年度)	89.7%(2022年度)	94.3%(2023年度)	84.8%(2024年度)	95%	△	健康福祉部
2	8	23	特別な配慮を必要とする子どもとその家庭への一貫した相談支援体制の充実	② 区立障害児通所支援施設における保護者を支援するプログラムの開催回数【中野区資料】	18回(2020年度)	7回(2022年度)	9回(2023年度)	26回(2024年度)	24回	◎	健康福祉部
2	9	24	子育て世帯が暮らしやすい住宅・住環境の誘導	① 区内の住宅の環境に満足している子育て家庭の割合【中野区子どもと子育て家庭の実態調査】	54.8%(2019年度)	—	—	50.4%(2024年度)	60%	△	子ども教育部教育委員会事務局
2	9	24	子育て世帯が暮らしやすい住宅・住環境の誘導	② 誘導居住面積水準以上の住宅に住まう子育て世帯の割合【住宅・土地統計調査】	33.5%(2018年)	—	—	24.6%(2023年)	38%	△	都市基盤部
2	9	25	子育て家庭にとって魅力的な空間・施設等の充実	① 保護者から見た「遊び・憩いの環境」の総合的な満足度【中野区子どもと子育て家庭の実態調査】	16.8%(2019年度)	—	—	25.5%(2024年度)	27%	○	子ども教育部教育委員会事務局
2	9	25	子育て家庭にとって魅力的な空間・施設等の充実	② 子育て応援とうきょうパスポート協賛店舗数【東京都公表資料】	73店舗(2020年度)	80店舗(2022年度)	146店舗(2023年度)	152店舗(2024年度)	150店舗	◎	子ども教育部教育委員会事務局

基本目標	政策	施策	指標【出典】	基本計画策定時 (該当年度)	実施計画策定時 (該当年度)	昨年度報告時 (該当年度)	現状値 (該当年度)	2025年度 目標値	進捗区分	担当部	
2	10	26	若者が地域や社会で活躍できる環境づくり	① 地域活動やNP0などの活動に参加した20歳代、30歳代の割合 【中野区区民意識・実態調査】	20% (2020年度)	11.5% (2022年度)	30.8% (2023年度)	18.9% (2024年度)	45%	△	子ども教育部 教育委員会事務局
2	10	26	若者が地域や社会で活躍できる環境づくり	② 地域社会などでボランティア活動に参加したことがある中学生の割合 【中野区資料】	60.7% (2020年度)	54% (2022年度)	53.3% (2023年度)	55.1% (2024年度)	73%	△	子ども教育部 教育委員会事務局
2	10	27	社会との関わりに課題を抱える若者の相談支援体制の充実	① 子ども・若者支援センター及びすこやか福祉センターにおける若者相談対応件数(実人員) 【中野区資料】	138人 (2020年度)	253人 (2022年度)	323人 (2023年度)	457人 (2024年度)	325人	◎	子ども教育部 教育委員会事務局
2	10	27	社会との関わりに課題を抱える若者の相談支援体制の充実	② 若者相談対応により課題の解決に至った件数(実人員) 【中野区資料】	31人 (2020年度)	129人 (2022年度)	171人 (2023年度)	209人 (2024年度)	192人	◎	子ども教育部 教育委員会事務局
3	11	28	高齢者が安心して暮らし続けることができる体制の充実	① 「何かあったときに相談する相手がいる」と思う高齢者の割合 【高齢福祉・介護保険サービス意向調査】	51.7% (2020年度)	52.2% (2022年度)	—	—	55%	○	地域支えあい推進部
3	11	28	高齢者が安心して暮らし続けることができる体制の充実	② 地域包括支援センターを身近に感じる人の割合(50歳代以上) 【健康福祉に関する意識調査】	22.9% (2020年度)	21.7% (2022年度)	—	—	30%	△	地域支えあい推進部
3	11	29	高齢者を支える医療や介護・生活支援サービス等の提供体制の充実	① 主治医と十分連携が取れているケアマネジャーの割合 【高齢福祉・介護保険サービス意向調査】	43% (2020年度)	47.8% (2022年度)	—	—	55%	○	地域支えあい推進部
3	11	29	高齢者を支える医療や介護・生活支援サービス等の提供体制の充実	② 「長期療養が必要になった場合に可能な限り自宅や実家で過ごしたい」人の割合 【健康福祉に関する意識調査】	32.7% (2020年度)	36.4% (2022年度)	—	—	60%	○	地域支えあい推進部
3	12	30	多様な交流・つながりを育み、いつまでも活躍できる環境づくり	① 収入のある仕事を週1回以上している65歳以上の区民の割合 【高齢福祉・介護保険サービス意向調査】	27% (2020年度)	25% (2022年度)	—	—	35%	△	地域支えあい推進部
3	12	30	多様な交流・つながりを育み、いつまでも活躍できる環境づくり	② 60歳代以上における地域活動を行っている割合 【健康福祉に関する意識調査】	60歳代:22.7% 70歳代:38.3% 80歳以上:36.5% (2020年度)	60歳代:35.1% 70歳代:27.3% 80歳以上:35% (2022年度)	—	—	45%	△	地域支えあい推進部
3	12	31	区民が主体的に取り組む介護予防の推進	① 住民主体サービスを提供する地域団体等の数 【中野区資料】	20団体 (2020年度)	21団体 (2022年度)	22団体 (2023年度)	23団体 (2024年度)	30団体	○	地域支えあい推進部
3	12	31	区民が主体的に取り組む介護予防の推進	② 体操や軽運動など介護予防のための通いの場への参加状況 【高齢福祉・介護保険サービス意向調査】	18.9% (2020年度)	20.8% (2022年度)	—	—	25%	○	地域支えあい推進部
3	13	32	権利擁護と虐待防止の推進	① 「成年後見制度」という言葉や仕組みを知っている人の割合 【健康福祉に関する意識調査】	34.7% (2020年度)	29.4% (2022年度)	—	—	45%	△	健康福祉部

基本目標	政策	施策	指標【出典】	基本計画策定時(該当年度)	実施計画策定時(該当年度)	昨年度報告時(該当年度)	現状値(該当年度)	2025年度目標値	進捗区分	担当部
3	13	32 権利擁護と虐待防止の推進	② 養護者による高齢者・障害者虐待の通報・届出に対応できた割合【中野区資料】	100% (2020年度)	100% (2022年度)	100% (2023年度)	100% (2024年度)	100%	◎	健康福祉部
3	13	33 多様な課題を抱えている人やその家族の早期発見・早期対応の推進	① アウトリーチチームが対応して適切な支援につなげた割合【中野区資料】	78.4% (2020年度)	84.9% (2022年度)	—	78.1% (2023年度)	85%	△	地域支えあい推進部
3	13	33 多様な課題を抱えている人やその家族の早期発見・早期対応の推進	② 自殺死亡率(10万人対)【中野区資料】	17.6人 (2016年から2020年の5年平均)	16.1人 (2018年から2022年の5年平均)	16.3人 (2019年から2023年の5年平均)	17.6 (2020年から2024年の5年平均)	14.4人	●	健康福祉部
3	13	34 障害者への相談支援体制と地域生活移行を支える環境の整備	① 障害福祉サービスを利用していない理由のうち「サービスを知らない」「利用方法がわからない」の割合【障害福祉サービス意向調査】	21.1% (2020年度)	30.8% (2022年度)	—	—	10%	△	健康福祉部
3	13	34 障害者への相談支援体制と地域生活移行を支える環境の整備	② 入所施設から地域移行した障害者の数(2015年度以降の累積数)【中野区資料】	10人 (2020年度)	13人 (2022年度)	15人 (2023年度)	21人 (2024年度)	39人	○	健康福祉部
3	13	35 生活に困窮している人の自立に向けた支援の充実	① 生活保護から自立した世帯数【中野区資料】	187世帯 (2020年度)	187世帯 (2022年度)	197世帯 (2023年度)	245世帯 (2024年度)	200世帯	◎	健康福祉部
3	13	35 生活に困窮している人の自立に向けた支援の充実	② 生活困窮者を対象とした就労支援を受け就労した割合【中野区資料】	5.3% (2020年度)	85.1% (2022年度)	84.9% (2023年度)	—	85.1%	○	健康福祉部
3	14	36 障害者の就労や社会参画の推進	① 一般就労による定期的な収入のある障害のある人の割合(15歳以上65歳未満)【障害福祉サービス意向調査】	41.8% (2020年度)	44.4% (2022年度)	—	—	45.4%	○	健康福祉部
3	14	36 障害者の就労や社会参画の推進	② 就労支援センターによる就職者数【中野区資料】	50人 (2020年度)	59人 (2022年度)	58人 (2023年度)	—	77人	○	健康福祉部
3	14	37 認知症のある人とその家族を支える環境づくり	① オレンジカフェ等認知症の人やその家族が集える場所の設置数【中野区資料】	19箇所 (2020年度)	17箇所 (2022年度)	19箇所 (2023年度)	20箇所 (2024年度)	25箇所	○	地域支えあい推進部
3	14	37 認知症のある人とその家族を支える環境づくり	② 認知症の症状や基本的な対応方法を知っている人の割合【健康福祉に関する意識調査】	27.3% (2020年度)	28.1% (2022年度)	—	—	45%	○	地域支えあい推進部
3	15	38 誰もが身近に運動・スポーツ活動に取り組みやすい環境づくり	① 1回30分以上の運動を週に1~2回以上行っている区民の割合【健康福祉に関する意識調査】	56.7% (2020年度)	57.1% (2022年度)	—	—	60%	○	健康福祉部
3	15	38 誰もが身近に運動・スポーツ活動に取り組みやすい環境づくり	② 障害者の外出の主な目的における趣味・スポーツの割合【障害福祉サービス意向調査】	19.7% (2020年度)	28.7% (2022年度)	—	—	31.7%	○	健康福祉部
3	15	39 健康的な生活習慣が身につく環境づくり	① 自身の健康状態が「よい」と思う区民の割合【健康福祉に関する意識調査】	85.7% (2020年度)	81.9% (2022年度)	—	—	90%	△	健康福祉部

基本目標	政策	施策	指標【出典】	基本計画策定時(該当年度)	実施計画策定時(該当年度)	昨年度報告時(該当年度)	現状値(該当年度)	2025年度目標値	進捗区分	担当部	
3	15	39	健康的な生活習慣が身につく環境づくり	② 食べ物や食生活に関して栄養バランスや規則正しい食生活を心がけている人の割合【健康福祉に関する意識調査】	58.8% (2020年度)	55.1% (2022年度)	—	—	63%	△	健康福祉部
3	15	40	地域医療体制の充実	① 地域の救急医療体制が整っていると思う人の割合【健康福祉に関する意識調査】	74.5% (2020年度)	77.8% (2022年度)	—	—	80%	○	健康福祉部
3	15	40	地域医療体制の充実	② かかりつけ医を決めている区民の割合【健康福祉に関する意識調査】	64.4% (2020年度)	71.4% (2022年度)	—	—	80%	○	健康福祉部
3	15	41	生涯にわたり学び続けることができる環境づくり	① 「区内において様々な学習機会が充実している」と感じる区民の割合【中野区区民意識・実態調査】	19.2% (2020年度)	16.7% (2022年度)	27.9% (2023年度)	25.9% (2024年度)	30%	○	区民部
3	15	41	生涯にわたり学び続けることができる環境づくり	② 区立図書館における児童図書貸出冊数【中野区資料】	302,594冊 (2020年度)	505,772冊 (2022年度)	518,652冊 (2023年度)	—	650,000冊	○	子ども教育部 教育委員会事務局
4	16	42	防災まちづくりの推進	① 不燃領域率(防災まちづくり事業対象地区)【中野区資料】	61.7% (2020年度)	63% (2022年度)	—	63.8% (2023年度)	70%	○	まちづくり推進部
4	16	42	防災まちづくりの推進	② 住宅の耐震化率【中野区資料】	90.3% (2020年度)	91.7% (2022年度)	92.2% (2023年度)	92.8% (2024年度)	100%	○	都市基盤部
4	16	43	災害に強い体制づくり	① 地域自主訓練等参加人員【中野区資料】	45,600人 (2019年度)	24,385人 (2022年度)	35,893人 (2023年度)	40,741人 (2024年度)	60,000人	△	総務部
4	16	43	災害に強い体制づくり	② 飲料水・食料を備蓄している区民の割合【中野区区民意識・実態調査】	飲料水60.3% 食料56.4% (2020年度)	飲料水61.7% 食料57.9% (2022年度)	飲料水61.1% 食料55.7% (2023年度)	飲料水67.7% 食料62.8% (2024年度)	飲料水75% 食料65%	○	総務部
4	17	44	西武新宿線連続立体交差事業を契機としたまちづくりの推進	① 西武新宿線5駅周辺の居住人口【中野区資料】	157,248人 (2020年度)	156,267人 (2022年度)	158,322人 (2023年度)	160,191人 (2024年度)	160,000人	◎	まちづくり推進部
4	17	44	西武新宿線連続立体交差事業を契機としたまちづくりの推進	② 西武新宿線5駅周辺の居住者のうち、中野区を住みやすいと思う区民の割合【中野区区民意識・実態調査】	89.6% (2020年度)	92.8% (2022年度)	90.7% (2023年度)	93.1% (2024年度)	93%	◎	まちづくり推進部
4	17	45	各地区の特性に応じたまちづくりの推進	① 中野坂上駅、東中野駅、新中野駅周辺の居住人口【中野区資料】	82,949人 (2020年度)	82,991人 (2022年度)	84,127人 (2023年度)	85,146人 (2024年度)	87,000人	○	まちづくり推進部
4	17	45	各地区の特性に応じたまちづくりの推進	② 中野坂上駅、東中野駅、新中野駅周辺の居住者のうち、中野区を住みやすいと思う区民の割合【中野区区民意識・実態調査】	93.5% (2020年度)	90.6% (2022年度)	94.9% (2023年度)	93.0% (2024年度)	95%	△	まちづくり推進部
4	18	46	住宅ストックの質の向上、適切な維持管理及び有効活用の推進	① 定住意向理由として「家の広さなど居住環境がよい」を選択した区民の割合【中野区区民意識・実態調査】	11.6% (2020年度)	12.6% (2022年度)	12.3% (2023年度)	14.4% (2024年度)	15%	○	都市基盤部

基本目標	政策	施策	指標【出典】	基本計画策定時 (該当年度)	実施計画策定時 (該当年度)	昨年度報告時 (該当年度)	現状値 (該当年度)	2025年度 目標値	進捗区分	担当部	
4	18	46	住宅ストックの質の向上、適切な維持管理及び有効活用の推進	② 空き家棟数 【中野区資料】	584棟 (2020年度)	668棟 (2022年度)	589棟 (2023年度)	618棟 (2024年度)	380棟	△	都市基盤部
4	18	47	まちなかの安全性・快適性の向上	① 定意向理由として「自然や街並みがよい」を選択した区民の割合 【中野区区民意識・実態調査】	9.4% (2020年度)	9.3% (2022年度)	7.2% (2023年度)	9.0% (2024年度)	10%	△	都市基盤部
4	18	47	まちなかの安全性・快適性の向上	② 住まい周辺の生活環境について、「景観や街並みについて」を「よい評価」とした区民の割合 【中野区区民意識・実態調査】	72.7% (2020年度)	70.5% (2022年度)	70.2% (2023年度)	73.9% (2024年度)	75%	○	都市基盤部
4	18	48	道路・橋梁の着実な整備・改修	① 道路舗装改修率 【中野区資料】	11.2% (2020年度)	14.5% (2022年度)	15.7% (2023年度)	17.9% (2024年度)	22%	○	都市基盤部
4	18	48	道路・橋梁の着実な整備・改修	② 無電柱化優先整備路線の進捗率 【中野区資料】	15.1% (2020年度)	17.5% (2022年度)	17.9% (2023年度)	18.5% (2024年度)	35%	○	都市基盤部
4	18	49	多様なニーズに応じた魅力ある公園の整備	① 公園や広場の利用者満足度 【中野区区民意識・実態調査】	58.7% (2020年度)	68.3% (2022年度)	65.6% (2023年度)	62.7% (2024年度)	70%	○	都市基盤部
4	18	49	多様なニーズに応じた魅力ある公園の整備	② 公園や広場の利用率 【中野区区民意識・実態調査】	34% (2020年度)	32% (2022年度)	34.2% (2023年度)	32.9% (2024年度)	36%	△	都市基盤部
4	18	50	誰もが利用しやすく、円滑に移動できる交通環境の整備	① 区内移動の快適性に関する満足度 【中野区区民意識・実態調査】	64.5% (2020年度)	61.2% (2022年度)	63.1% (2023年度)	59.8% (2024年度)	68%	△	都市基盤部
4	18	50	誰もが利用しやすく、円滑に移動できる交通環境の整備	② 駅周辺の自転車放置率 【中野区資料】	5.4% (2020年度)	4.7% (2022年度)	4.7% (2023年度)	4.6% (2024年度)	4%	○	都市基盤部
4	19	51	脱炭素社会の推進と気候変動への適応	① 区内の二酸化炭素排出量 【オール東京62市区町村共同事業提供資料】	899千t-CO ₂ (2018年度)	866千t-CO ₂ (2020年度)	—	878千t-CO ₂ (2021年度)	716千t-CO ₂	○	環境部
4	19	51	脱炭素社会の推進と気候変動への適応	② 環境に配慮した取組を行っている区民の割合 【中野区区民意識・実態調査】	89.9% (2020年度)	92.6% (2022年度)	91.9% (2023年度)	90.7% (2024年度)	95%	○	環境部
4	19	52	ごみの減量やリサイクルの推進	① 区民1人1日あたりのごみ排出量 【中野区資料】	477g (2020年度)	454g (2022年度)	—	435g (2023年度)	431g	○	環境部
4	19	52	ごみの減量やリサイクルの推進	② 燃やすごみの中の資源化可能物の混入率 【ごみ組成分析調査】	25.5% (2020年度)	33.8% (2021年度)	24.9% (2023年度)	28.3% (2024年度)	22.8%	△	環境部
4	19	53	みどりの保全と創出の推進	① みどりの豊かさに対する区民の満足度 【中野区区民意識・実態調査】	63.6% (2020年度)	65.4% (2022年度)	62.8% (2023年度)	64.2% (2024年度)	68.1%	○	環境部
4	19	53	みどりの保全と創出の推進	② 緑被率・みどり率 【中野区みどりの基本計画】	緑被率16.14% みどり率17.46% (2019年度)	—	—	—	緑被率16.57% みどり率17.89%	—	環境部

基本目標	政策	施策	指標【出典】	基本計画策定時 (該当年度)	実施計画策定時 (該当年度)	昨年度報告時 (該当年度)	現状値 (該当年度)	2025年度 目標値	進捗区分	担当部	
4	20	54	犯罪や事件・事故の防止と消費生活の安全の推進	① 刑法犯認知件数 【都民安全推進本部資料（東京都）】	2,058件 (2020年)	1,880件 (2022年)	1,976件 (2023年)	2,094件 (2024年)	1,700件	△	総務部
4	20	54	犯罪や事件・事故の防止と消費生活の安全の推進	② 自転車関与事故件数 【都民安全推進本部資料（東京都）】	350件 (2020年)	382件 (2022年)	392件 (2023年)	362件 (2024年)	190件	△	総務部
4	20	55	感染症の予防と拡大防止	① 感染症の予防を心がけている人の割合 【健康福祉に関する意識調査】	97.3% (2020年度)	94.8% (2022年度)	—	—	98%	△	健康福祉部
4	20	55	感染症の予防と拡大防止	② 区民健診（長寿健診）の受診率 【中野区資料】	43.1% (2020年度)	41.9% (2022年度)	—	41.9% (2023年度)	50%	△	健康福祉部
4	20	56	安全・安心な生活環境の確保	① 食中毒について、関心があり十分理解している人の割合 【健康福祉に関する意識調査】	13.1% (2020年度)	12.6% (2022年度)	—	—	15%	△	健康福祉部
4	20	56	安全・安心な生活環境の確保	② 旅館業監視施設のうち、指摘事項があった施設の割合 【中野区資料】	59.3% (2020年度)	54.2% (2022年度)	47.2% (2023年度)	38.4% (2024年度)	25%	○	健康福祉部